

# ServerView Suite V10.10.04

(PRIMERGY TX200 S5 )

## 更新履歴

版数	変更内容	日付
3版	SVAagents (2)追加、SVIM 留意事項 (8)-(10)追加	2010 年 6 月 30 日

V10.10.02 より以下の変更を行っております。

PRIMERGY TX200 S5 に対応しました。

ServerView Deployment Manager に対応しました。

## 1. 対象 OS および対象機種

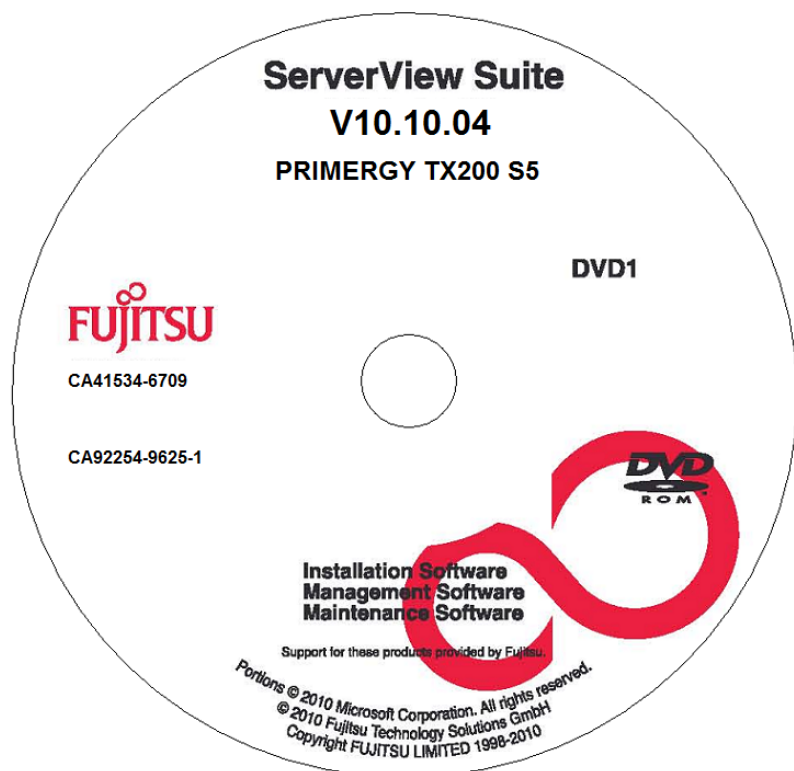
対象 OS	TX200 S5
Windows Server 2003 R2, Web Edition(SP2)	○
Windows Server 2003 R2, Standard Edition(SP2)	○
Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition(SP2)	○
Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition(SP2)	○
Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition(SP2)	○
Windows Web Server 2008(32-bit)	×
Windows Server 2008 Standard (32-bit)	○
Windows Server 2008 Enterprise (32-bit)	○
Windows Web Server 2008(64-bit)	×
Windows Server 2008 Standard (64-bit)	○
Windows Server 2008 Enterprise (64-bit)	○
Windows Small Business Server 2008 Standard(64-bit)	×
Windows Small Business Server 2008 Premium(64-bit)	×
Windows Essential Business Server 2008 Standard(64-bit)	×
Windows Essential Business Server 2008 Premium(64-bit)	×
Windows Web Server 2008 R2(64-bit)	○
Windows Server 2008 R2 Foundation (64-bit)	×
Windows Server 2008 R2 Standard (64-bit)	○
Windows Server 2008 R2 Enterprise (64-bit)	○
Windows Server 2008 R2 Datacenter (64-bit)	○
Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)	○
Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)	○
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)	○
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for x86)	○
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T)	○
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for EM64T)	○

## 2. 格納ソフトウェア

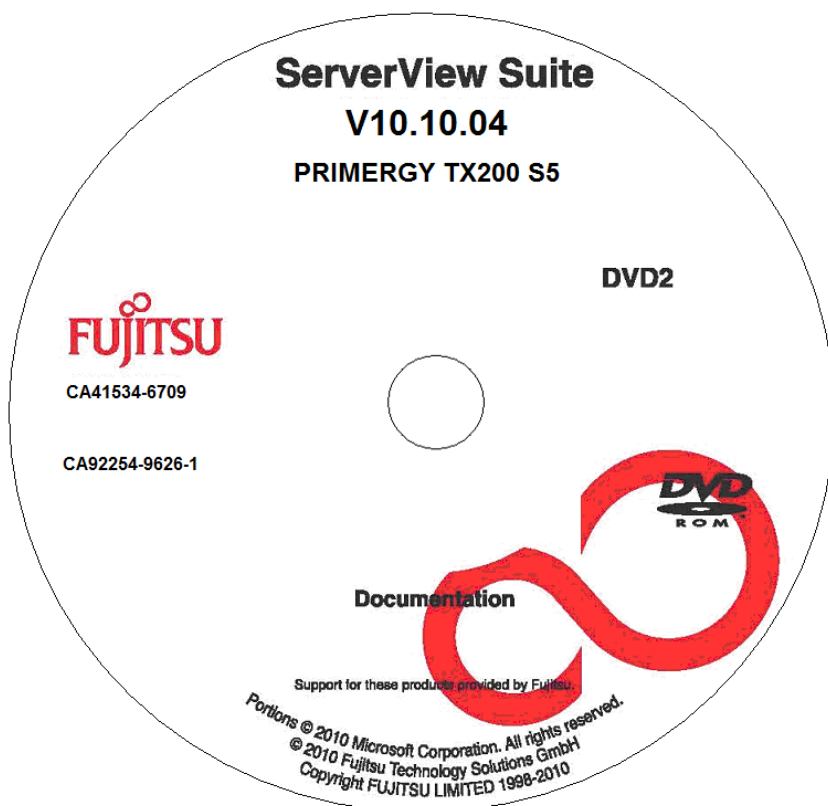
	Windows	Linux
ServerView Agents	V4.92.42	V4.92.46
ServerView Update Agent	V4.92.02	V4.92.02
ServerView Operations Manager	V4.92.11	V4.92.11
ServerView RAID Manager	V4.4.3	V4.4.3
DSNAP	V3.0L40	—
ソフトウェアサポートガイド	V2.0L40	—
RAS 支援サービス	V5.1L13-01	V3.1.2-01
HRM / server	5.0.2	5.0.2
富士通 Linux サポートパッケージ	—	1.0-0
ServerView Installation Manager	V10.10.02-U	V10.10.02-U
ServerView Deployment Manager	V5.30 SP1	—
ServerView Virtual-IO Manager	V2.1.04	—
UpdateAdvisor	V3.60L20	—
REMCS エージェント	V3.2L12D	V3.2L12D

### 3. 媒体

DVD1 : 添付ソフトウェア／ドライバ



DVD2 : マニュアル

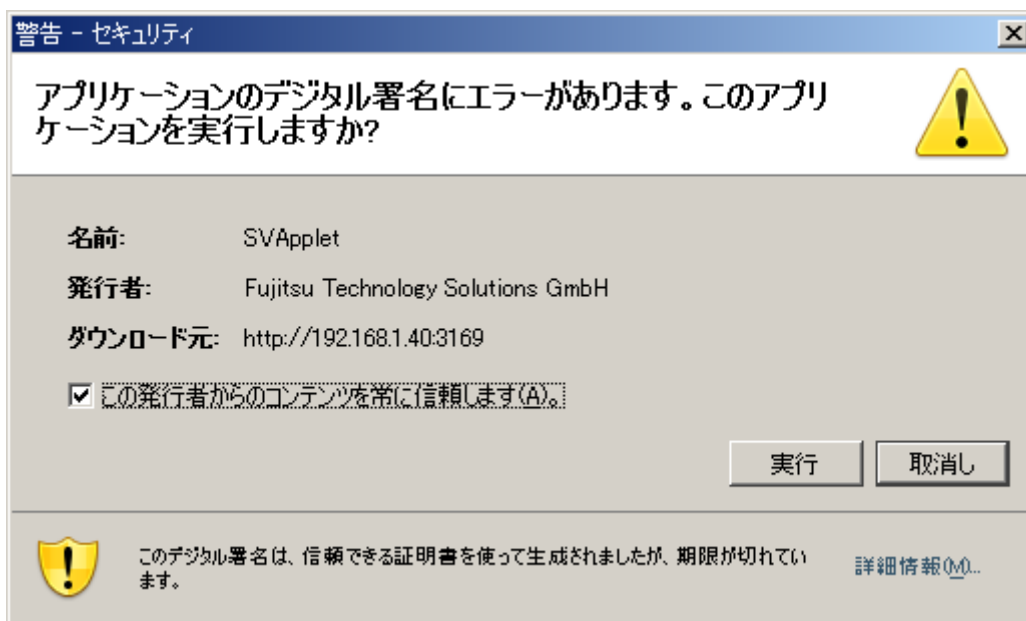


## 4. 留意事項

### ■ServerView Operations Manager の留意事項

- (1) V4.81 以前の ServerView Agents がインストールされている環境に 本 DVD に格納されている ServerView Operations Manager をインストールすることはできません。ServerView Operations Manager をインストールする場合は、事前に ServerView Agents を V4.91 以降にアップデートしてください。
- (2) ServerView Operations Manager for Windows に同梱されている SQL Server の最大メモリ使用量のパラメータ(max server memory)は 2147483647MB に設定されています。この設定値を変更する場合は以下の手順で変更してください。
  1. コマンドプロンプトを起動します。
  2. 「max server memory」設定変更コマンドが格納されたフォルダへ移動します。Web サーバによって格納フォルダが異なります。
    - ・ IIS の場合  
C:\inetpub\scripts\ServerView\Tools
    - ・ ServerView WebServer (Apache2\_SV) の場合  
C:\Program Files\Fujitsu\ServerView Suite\ServerView\ServerView Services\scripts\ServerView\Tools
    - ・ Apache2.0 / Apache2.2 の場合  
<Apache のインストール先>\cgi-bin\scripts\ServerView\Tools
  3. 次のコマンドを実行します。  
SVConfigSQLMaxMemSize.bat [/SVSETUP]  
※/SVSETUP を指定した場合、サイズは 64MB に設定されます。  
何も指定しない場合、対話モードとなり、任意に値を指定できます。
- (3) ServerView Operations Manager を起動すると、下記のようなデジタル署名に関する警告メッセージが表示される場合があります。  
警告メッセージが表示された場合は、「この発行者からのコンテンツを常に信頼します。」にチェックを入れて、「実行」を選択してください。これらの警告メッセージが表示されても動作に問題はありません。  
本問題が修正された ServerView Operations Manager は、2010 年 7 月以降に提供予定です。  
弊社ダウンロードサイトからダウンロードしてください。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>



- (4) ServerView Operations Manager for Linux では、アラーム設定によるメール転送機能を使用することができません。  
本問題が修正された ServerView Operations Manager は、2010 年 7 月以降に提供予定です。  
弊社ダウンロードサイトからダウンロードしてください。  
<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>
- (5) リモートマネジメントコントローラ(以下、iRMC)のライセンスキー設定後に有効となる iRMC のビデオリダイレクション機能を、ServerView Operations Manager のリモートマネージャ画面の「ビデオリダイレクション」ボタンより起動すると、エラーとなり起動できない場合があります。  
この場合 iRMC WebUI の [コンソールリダイレクション (Console Redirection)] - [ビデオ (AVR) (Video Redirection)] からビデオリダイレクションを起動してください。  
本問題は iRMC のファームウェア(ハードウェアプログラム)で修正される予定です。
- (6) PSU ファンが警告(failure-predicted)状態となっている時、対象となる PSU のステータスアイコンの画像が表示されません。PSU の状態については、[電源]の「電源情報」にて確認してください。  
本問題が修正された ServerView Operations Manager は、2010 年 7 月以降に提供予定です。  
弊社ダウンロードサイトからダウンロードしてください。  
<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>
- (7) iRMC WebUI の以下の項目は、ServerView Operations Manager の [管理者設定] - [サーバの設定]には表示されません。  
iRMC WebUI で設定してください。  
・[ネットワーク]-[DHCP 設定]画面に表示される「DHCP による完全修飾ドメインを DNS へ登録」  
本問題が修正された ServerView Operations Manager は、2010 年 7 月以降に提供予定です。  
弊社ダウンロードサイトからダウンロードしてください。  
<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>
- (8) ServerView Operations Manager の [管理者設定] - [サーバの設定] - [iRMC ユーザ管理]にて設定する、iRMC のユーザ名およびパスワードは、入力文字数をチェックしていません。ユーザ名およびパスワードの設定を行うときには iRMC で設定可能な文字数以内とするように注意してください。  
本問題が修正された ServerView Operations Manager は、2010 年 7 月以降に提供予定です。  
弊社ダウンロードサイトからダウンロードしてください。  
<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>

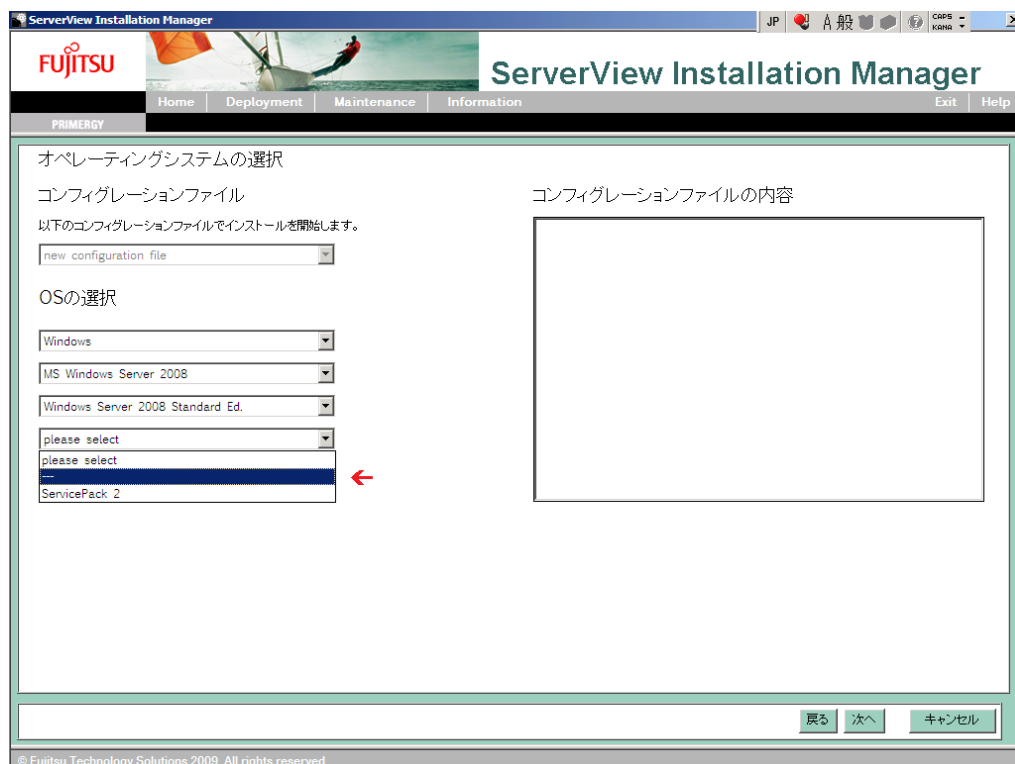
## ■ServerView Agents の留意事項

- (1) V4.81 以前の ServerView Operations Manager がインストールされている環境に 本 DVD に格納されている ServerView Agents をインストールすることはできません。ServerView Agents をインストールする場合は、事前に ServerView Operations Manager を V4.91 以降にアップデートしてください。
- (2) Red Hat Enterprise Linux 5 環境への ServerView Agents のインストールについて  
Red Hat Enterprise Linux 5 をインストールした環境に、ServerView Agents をインストールする場合、マニュアル「Quick Installation - ServerView Agents (Linux and VMware)」の「1.5.3 スクリプトに基づいたインストール」は行えません。「1.5.4 rpm コマンドを使ったインストール」を参照し、インストールを行ってください。

## ■ServerView Installation Manager(SVIM)の留意事項

- (1) SVIM では Windows Server 2008 Service Pack2 がインストールできません  
SVIM を使用して Windows Server 2008 Service Pack2 をインストールすることはできません。  
SVIM で Windows Server 2008 のインストールが完了後、手動でインストールしてください。

- (2) サービスパックなしの Windows OS メディアを使用してインストールする場合、サービスパックは[---]を選択してください。**  
サービスパックなしの Windows OS メディア(RTM 版、サーバ添付のインストールディスク)を使用してインストールする場合、サービスパックは[---]を選択してください。



- (3) プロダクトキーの再入力画面が表示された場合、再度プロダクトキーを入力してください**

Microsoft メディアを使用する場合、OS インストール中にプロダクトキーの再入力を求められる場合があります。入力画面が表示された場合、再度プロダクトキーを入力してください。

- (4) デプロイメントサーバでは ServerView Suite DVD 1 に含まれる Python をご使用されることをお勧めします**

PXE モードで使用するデプロイメントサーバ上で、ServerView Suite DVD 1 に含まれる Python 以外をご使用される場合、問題が発生する可能性があります。ServerView Suite DVD 1 に含まれる Python をご使用されることをお勧めします。

- (5) Red Hat Enterprise Linux 5 では、ServerView Operations Manager がインストールできません**

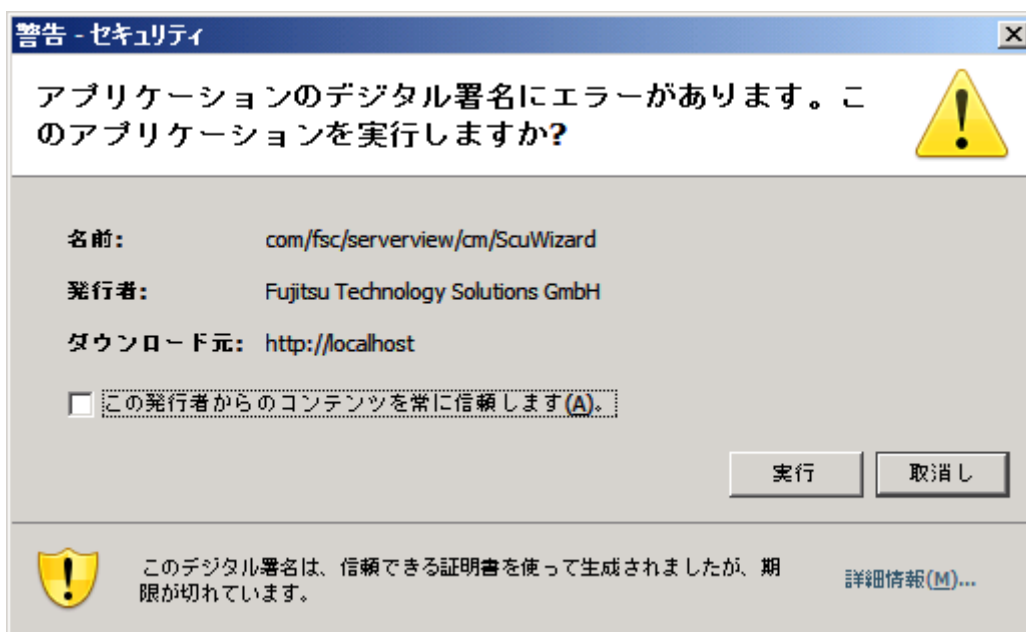
SVIM を使用して、Red Hat Enterprise Linux 5 上に ServerView Operations Manager をインストールすることはできません。SVIM で Red Hat Enterprise Linux 5 のインストールが完了後、ServerView Operations Manager を手動でインストールしてください。

- (6) ファイバーチャネルカード(PG-FC203/L、PG-FC204/L、PG-FCD202)搭載時の Windows Server 2003 インストールについて**

Windows Server 2003 Service Pack 2 未適用の OS メディアを使用して、SVIM でインストールを行った場合、ファイバーチャネルカード(PG-FC203/L、PG-FC204/L、PG-FCD202)のドライバはインストールされません。SVIM でのインストールが完了後、手動でインストールしてください。

- (7) Server Configuration Manager 起動時の警告メッセージについて**

Server Configuration Manager 起動時に、下記のようなデジタル署名に関する警告メッセージが表示される場合があります。警告メッセージが表示された場合は、「この発行者からのコンテンツを常に信頼します。」にチェックを入れて、「実行」を選択してください。これらの警告メッセージが表示されても動作的に問題はありません。



#### (8) ServerView Update Agent のインストールについて

SVIM を使用して、Red Hat Enterprise Linux 5 をインストールする際に、「OS の設定」画面において「インストールタイプ」を「最小インストール」にした場合、ServerView Update Agent をインストールすることはできません。

SVIM で Red Hat Enterprise Linux のインストールが完了後、ServerView Update Agent を手動でインストールするか、「OS の設定」画面で「デフォルトインストール」、または「すべてインストール」を選択してください。

#### (9) SVIMを使用してWindows Server 2008をインストールする場合、ボリュームラベル名に日本語を入力することができません

SVIM を使用して Windows Server 2008 をインストールする場合、ボリュームラベル名に日本語を入力することができません。半角英数字で入力を行ってください。

日本語でボリュームラベルを入力してしまった場合は、インストール完了後にボリュームラベルを再設定してください。

#### (10) SVIMを使用してWindows Server 2003をインストールする場合、名前、組織名に半角スペースを入力することができません

SVIM を使用して Windows Server 2003 をインストールする場合、名前、組織名に半角スペースを入力することができません。



## ■ Update Manager Express の留意事項

### (1) WinPE 環境における制限

ServerView Suite DVD で起動した WinPE 環境では、プログラムの制限により、一部のハードウェア (SCSI Controller、LAN Controller など) において、以下のような現象が発生致します。

- ・ サーバに搭載している装置の現在のファームウェア版数が取得できない。
- ・ サーバに搭載していない装置のファームウェアが、更新リストに表示される。

(RX100S6 で現象発生時の画面サンプル)



現在のファームウェア版数が取得できなかった装置は、更新の必要、不必要に関係なく、更新リストに表示されます。事前に現在のファームウェア版数を確認の上、更新の必要、不必要を判断してください。

また、搭載していない装置に対してファームウェアの更新を実行した場合、更新処理に失敗します。

そのため、搭載しているハードウェアに関して、正確な情報が取得可能な環境である Windows OS または Linux OS 上から Update Manager Express を起動し、BIOS/ファームウェアの更新を行うことを推奨しております。

### (2) Windows ドライバ更新機能

Update Manager Express には、Windows OS (Windows Server 2003、Windows Server 2008) のドライバ更新機能があります。そのため Update Manager Express を Windows OS 上で起動すると、更新の必要がある BIOS、ファームウェア以外に、更新が必要なドライバも表示されます。

この Windows ドライバの更新機能は、Windows OS 上で起動した場合のみ使用できます。ServerView Suite DVD で起動した WinPE 環境、Linux 環境ではご使用になれません。

また Linux OS のドライバ更新機能は提供しておりません。

### (3) Update Manager Express で表示されるドライバ版数

Update Manager Express で表示されるドライバのバージョン情報は、PRIMERGY Support Package (PSP) のバージョンです。更新対象の実際のドライバ版数を確認したい場合、Update Manager Express 上に表示されているバージョン欄のリンクをクリックする、もしくは DVD 内の PSP\_Readme.htm に記載されているドライバ情報を参照してください。

### (4) FSC\_SCAN について

Windows OS 上で Update Manager Express を起動すると、「FSC\_SCAN」というモジュールが、更新対象として表示される場合があります。

このモジュールは、Update Manager (Update Manager Express ではありません。) で使用するモジュールです。必要に応じてインストールしてください。

### (5) サポート機種

Update Manager Express は、以下のモデルのみをサポートしております。

- TX150 S7
- RX100 S6
- TX300 S6
- RX300 S6



## ■ ServerView Deployment Manager の留意事項

### (1) リモート OS セットアップ「Mass Installation」実行時のエラー

ServerView Deployment Manager V05.30 SP1 を使用して、ターゲットサーバに対して Windows 2003/Windows2008 のリモート OS セットアップ「Mass Installation」を実行すると、下記のようなエラーが表示されます。

#### ●現象

(ポップアップエラー)

Loading event log for this task failed! ERROR 1: 145: Error [] in Task class, line [2424], task ID [x].




(エラー発生時の画面サンプル① - Job Status 画面)

ERROR 1: 138 Module Request ID [0] does not belong to server [サーバ名] with ID [x].

**Task Details**

Job Status

Event Log


State: 

Start Time: 2010/03/17 19:50:09

End Time: 2010/03/17 20:17:00

Phase Command: SeSt CompleteInstallation

Phase Status: ERROR 1.138: Module Request ID [0] does not belong to server [BX900P00131-07] with ID [4].

Job ID	State	Server Name	Start Time	End Time	Phase Command	Detail Info
20		BX900P00131-07	2010/03/17 19:50...	2010/03/17 20:17...	SeSt Complete...	ERROR 1.138: Module Request ID [0] does not belong to server [B...

Detail Info:

ERROR 1.138: Module Request ID [0] does not belong to server [BX900P00131-07] with ID [4].

## (エラー発生時の画面サンプル② - Event Log 画面)

**Task Details**

Job Status | **Event Log**

Clear All Log

State	Time	Result
	2010/03/12 12:18:31	BX900P00131-05: Taskphase 3 started
	2010/03/12 12:18:32	BX900P00131-05: Success
	2010/03/12 12:26:43	BX900P00131-07: Success
	2010/03/12 12:26:44	BX900P00131-07: Taskphase 3 started
	2010/03/12 12:27:00	BX900P00131-07: Error[#138<9><BX900P00131-07><0>]End

Result:

BX900P00131-07: Error[#138<9><BX900P00131-07><0>]End

### ●現象が発生する環境

下記2つを満たす環境で、Windows2003/Windows2008 の Mass Installation を実行した場合に発生します。

1. ServerView Installation Manager 10.10.02.07U 以降
2. ServerView Deployment Manager V05.30 SP1

### ●原因

ServerView Installation Manager から送信される日本語メッセージを、ServerView Deployment Manager が正しく処理できなかったために、エラーを表示します。

### ●対処

本障害が発生した場合、Deployment Manager 上では誤ってエラーとして表示されますが、リモート OS セットアップ「Mass Installation」自身は成功しております。以下のように、リモート OS セットアップのエンジンである「ServerView Installation Manager」のログの最後に、「完了」と表示されていることで、Mass Installation の処理が正常に完了していることを確認してください。

(確認ログの場所)

- デプロイメントサーバが「Windows2003」の場合

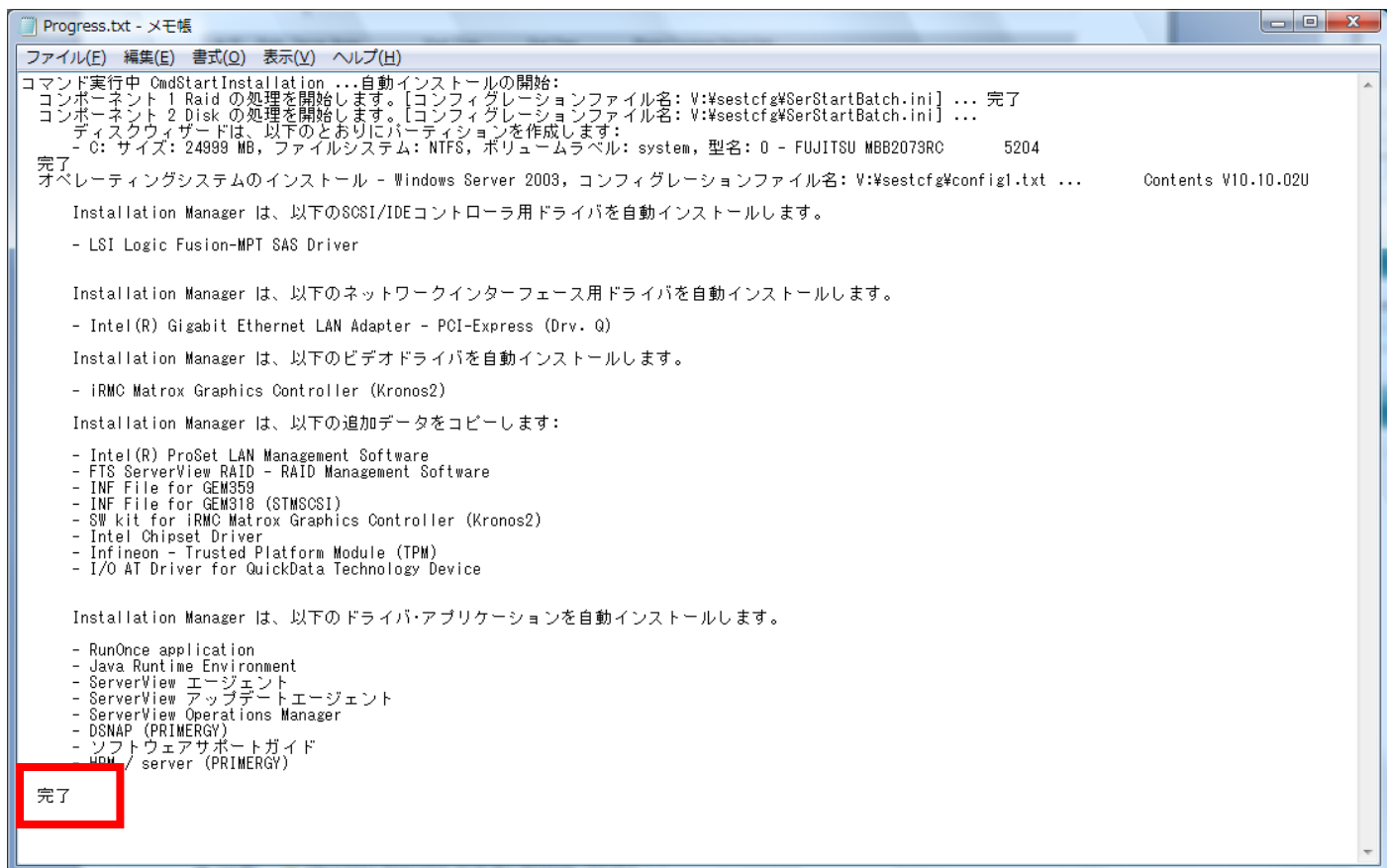
C:\Program Files\Fujitsu\ServerView Suite\DeploymentService\%ftp%\DIR<サーバの MAC アドレス>\%Progress.txt

- デプロイメントサーバが「Windows2008」の場合

C:\Program Files (x86)\Fujitsu\ServerView Suite\DeploymentService\%ftp%\DIR<サーバの MAC アドレス>\%Progress.txt

## (確認項目)

Progress.txt の最後に、下記のように「完了」が記載されていること。



```
Progress.txt - メモ帳
ファイル(E) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
コマンド実行中 CmdStartInstallation ...自動インストールの開始:
コンポーネント 1 Raid の処理を開始します。[コンフィグレーションファイル名: V:\$sestcfg\%SerStartBatch.ini] ... 完了
コンポーネント 2 Disk の処理を開始します。[コンフィグレーションファイル名: V:\$sestcfg\%SerStartBatch.ini] ...
ディスクウィザードは、以下のとおりパーティションを作成します:
- C: サイズ: 24999 MB, ファイルシステム: NTFS, ボリュームラベル: system, 型名: 0 - FUJITSU MBB2073RC 5204
完了
オペレーティングシステムのインストール - Windows Server 2003, コンフィグレーションファイル名: V:\$sestcfg\%config1.txt ... Contents V10.10.02U
Installation Manager は、以下のSCSI/IDEコントローラ用ドライバを自動インストールします。
- LSI Logic Fusion-MPT SAS Driver
Installation Manager は、以下のネットワークインターフェース用ドライバを自動インストールします。
- Intel(R) Gigabit Ethernet LAN Adapter - PCI-Express (Drv. Q)
Installation Manager は、以下のビデオドライバを自動インストールします。
- iRMC Matrox Graphics Controller (Kronos2)
Installation Manager は、以下の追加データをコピーします:
- Intel(R) ProSet LAN Management Software
- FTS ServerView RAID - RAID Management Software
- INF File for GEM359
- INF File for GEM318 (STMSCSI)
- SW kit for iRMC Matrox Graphics Controller (Kronos2)
- Intel Chipset Driver
- Infineon - Trusted Platform Module (TPM)
- I/O AT Driver for QuickData Technology Device
Installation Manager は、以下のドライバ・アプリケーションを自動インストールします。
- RunOnce application
- Java Runtime Environment
- ServerView エージェント
- ServerView アップデートエージェント
- ServerView Operations Manager
- DSNAP (PRIMERGY)
- ソフトウェアサポートガイド
- HPM / server (PRIMERGY)
完了
```

(OSによっては、最後の完了メッセージが2回表示される場合があります。)

## ●修正の提供

本障害は、次版 V05.30 SP2 で修正されております。以下のいずれかの方法で入手可能です。

- 弊社ダウンロードサイトからダウンロードします。

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>

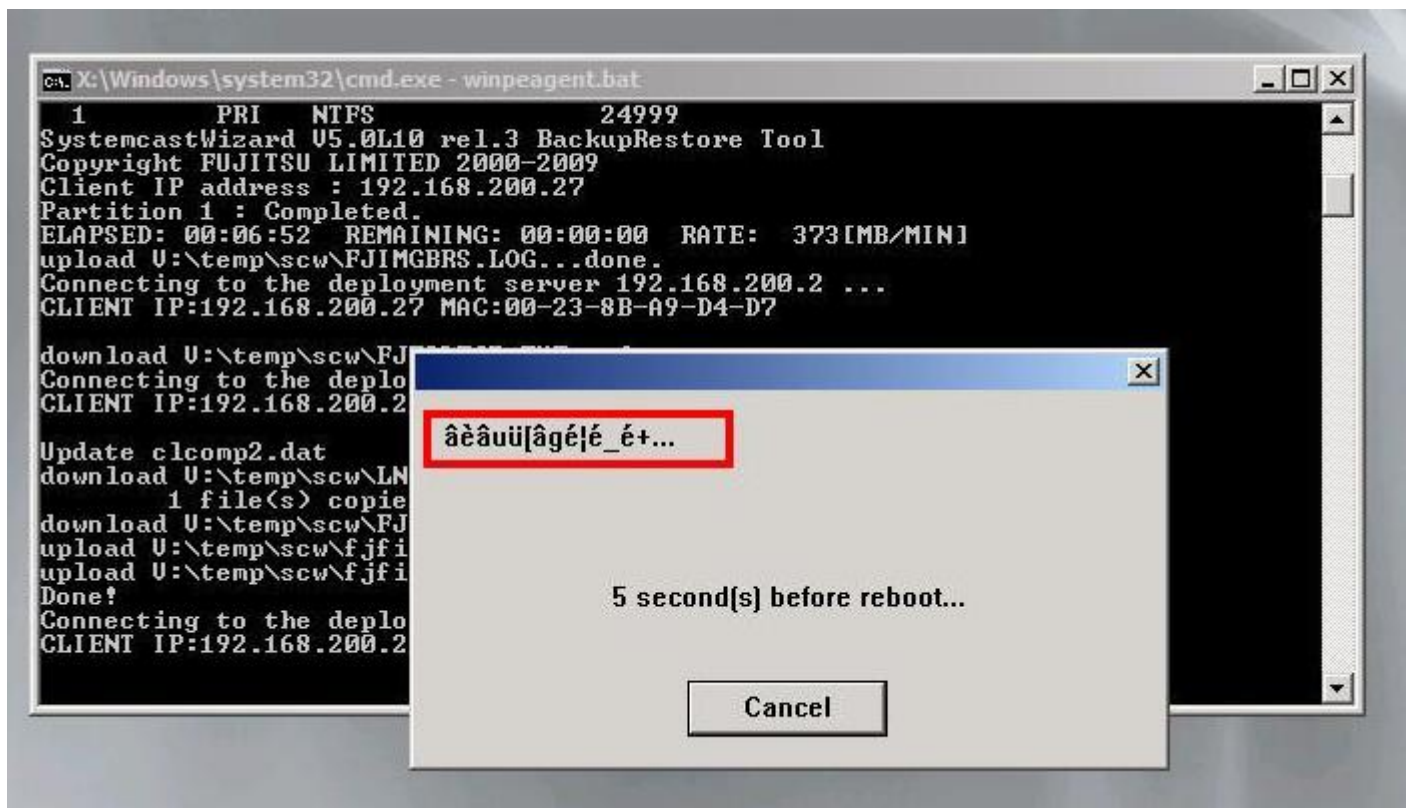
- ServerView Deployment Manager V5.30 SP2 が格納される予定の「ServerView Suite DVD 10.10.05」(2010 年 5 月以降に提供予定)を入手します。

## (2) Mass Installation の制限事項

ServerView Deployment Manager のリモート OS セットアップ「Mass Installation」機能は、ServerView Installation Manager の機能を使用しております。そのため、ServerView Installation Manager の制限、留意事項は全て本製品の制限事項となります。

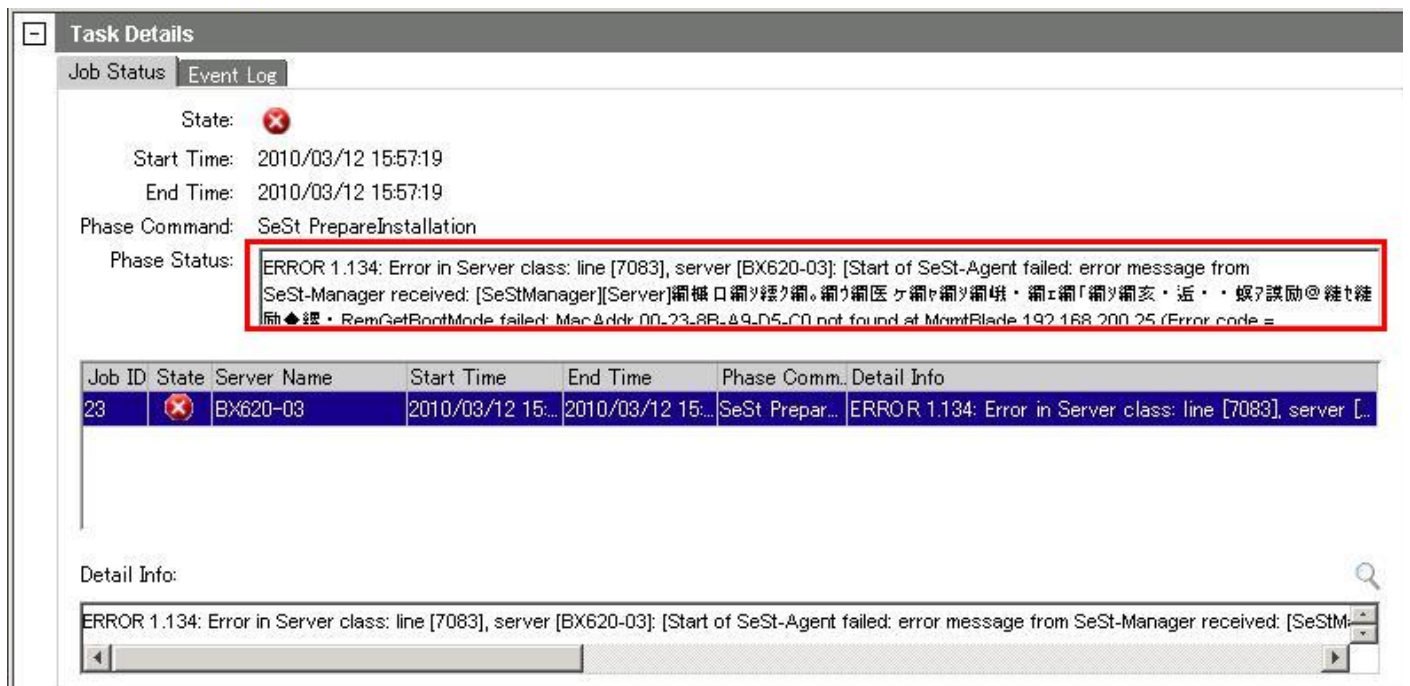
## (3) ディスクイメージの取得／展開処理時の一部メッセージの文字化け

Mass Cloning および Crash Recovery でディスクイメージの取得／展開後にシステムを再起動する際に、下記のようにシャットダウンメッセージの一部が文字化けする問題があります。本現象はイメージの取得／展開処理には影響しませんので、そのままご使用頂けるようお願い致します。



#### (4)エラーメッセージの文字化け

リモート OS セットアップ「Mass Installation」にて何らかのエラーが発生した場合に、下記のように一部エラーメッセージが文字化けする場合がございます。なお、文字化けが原因でエラーが起きているわけではありません。



(5) Windows 2008 に Deployment Manager インストール時にエラーが発生する

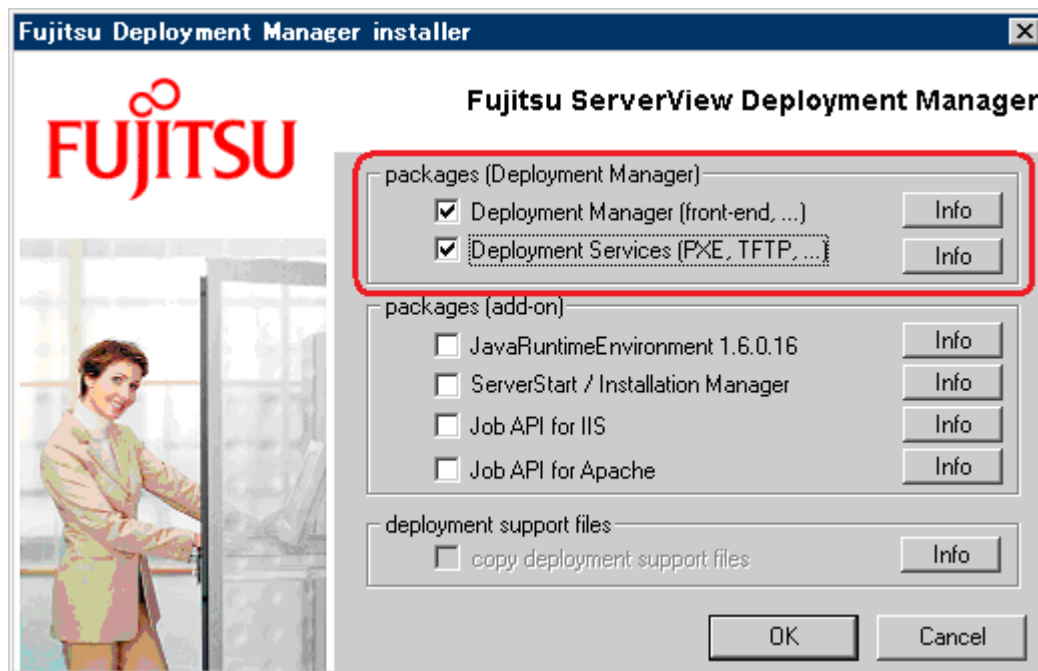
弊社ダウンロードサイト(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/downloads/>)からダウンロードした ServerView Deployment Manager のインストールパッケージを、CD/DVD のメディアへ書き込んだ状態で Windows 2008 / Windows 2008 R2 システムへインストールした場合、下記のようなエラーメッセージが、インストール処理の最後に発生する場合があります。



### ●現象が発生する環境

以下の3つの条件を満たす場合に発生します。

1. Windows 2008 または Windows 2008 R2
2. ServerView Deployment Manager V05.30 SP1 または ServerView Deployment Manager V05.30 SP2
3. インストールパッケージで「Deployment Manager」および「Deployment Service」を選択し、「ServerView Installation Manager」を追加パッケージとして選択していない場合



### ●原因

インストール最後に実行するスクリプトが存在しないため、エラーが発生します。

Deployment Manager をシステムへインストールしている途中、ServerView Suite DVD のメディア要求がございます。そして、必要なファイルを ServerView Suite DVD から取得した直後に、Windows 2008 上の特定のファイアウォールを解除するためのスクリプトを実行します。

このとき、お客様が作成した Deployment Manager のインストールパッケージが書き込まれた CD/DVD メディアからインストールを実行していた場合、ServerView Suite DVD のメディア要求が発生した際に、Deployment Manager が入った CD/DVD メディアを ServerView Suite DVD に入れ替える作業が発生します。そのため、ファイアウォール解除用スクリプトを実行しようとした際に、格納されたメディアが ServerView Suite DVD と入れ替えられているため、ファイルを見つけることができず、結果としてエラーが発生します。また、その際に ServerView Deployment Manager のインストーラもアプリケーションエラーで終了します。

### ●対処

ServerView Suite DVD に格納されている Deployment Manager からインストールする、またはダウンロードしたインストールパッケージを対象システム上のローカルディレクトリに保存し、そこからインストールを実行してください。



## (6) その他留意事項について

ServerView Deployment Manager の Readme.htm に、上記に記載されていない制限、留意事項が記載されておりますので、そちらもご確認ください。

## (7) ライセンスおよび製品サポートについて

Deployment Manager をご使用になるにはライセンス購入が必要です。リモート OS セットアップ、クローンセットアップを行いたいターゲットサーバ数(クライアント数)のライセンスを用意してください。デプロイメントサーバ自身には、ライセンス購入は必要ありません。

- ・ ライセンスは有償です。1 ターゲットサーバ毎に 1 ライセンスが必要です。
- ・ ServerView Deployment Manager では有償サポートメニューをご用意しています。万が一のトラブル対応等につきましては、SupportDesk 契約が必要となります。ライセンス購入されても、本製品に対するサポート契約を締結されていない場合は、QA 対応やトラブル対応を実施することができません(有償サポート契約がある場合のみ対応可能)。本製品はその性格上、システム構築時より利用するケースが多いため、システム構築時よりサポート契約を締結頂くことを推奨いたします。

## (8) トラブル時のログ収集

サポート契約されたお客様で、製品をご使用中のトラブルについて調査を依頼される場合、製品に標準添付されているログ収集ツールでログを採取した上でお問い合わせをお願いします。

- ・ ServerView Suite DVD  
(ServerView Suite DVD):¥SVSSoftware¥Software¥Deployment¥DeploymentManager¥diag¥GetRdDiag.vbs
- ・ 製品をダウンロード検索からダウンロードした場合  
(製品が格納されているルートフォルダ)¥diag¥GetRdDiag.vbs

## (9) ご使用になれない環境

SystemcastWizard Professional、ServerView Resource Coordinator VE をご使用になられている環境では、本ソフトウェアはご使用になれません。

## ■リモートマネジメントコントローラ(iRMC)の留意事項

### (1) リモート接続時の警告メッセージについて

iRMC WebUI より リモート接続(※1)を行った場合、下記のようなデジタル署名に関する警告メッセージが表示される場合があります。

警告メッセージが表示された場合は、「この発行者からのコンテンツを常に信頼します。」にチェックを入れて、「実行」を選択してください。これらの警告メッセージが表示されても動作に問題はありません。

(※1) iRMC WebUI の BIOS テキストコンソールリダイレクション、ビデオリダイレクション、SSH アクセス、Telnet アクセス



## **(2) ビデオリダイレクション、およびリモートストレージ使用時のブラウザ設定**

iRMC WebUI より ビデオリダイレクション、およびリモートストレージ機能を使用する場合は、プロキシ経由で接続することができません。ブラウザの設定で、iRMC WebUI への接続はプロキシを使用しないように設定してください。

### **■著作権および商標**

Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Red Hat および Red Hat をベースとしたすべての商標とロゴは、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の商標または登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

Copyright FUJITSU LIMITED 2010

以上